

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 3月 5日公開
イラン核兵器保有に近づく

ガリラヤより、こんばんは。昨夜、聖書預言についてライブ配信したばかりでしたから、今回は予想外ですが、これは聖書預言を愛する人たちにとっても、それからニュースの背後に隠されたことを知って聖書預言と繋げて考えたいという人にとっても、非常に重要で、かつ緊迫した出来事だと思いましたので、お伝えすることにしました。エゼキエル戦争については、ずっとお話ししてきましたが、今朝、イランのテヘランで、エゼキエルの成就に向けて巨大な一歩が踏み出されました。実際に何が起きているのかをご説明します。

イランはS-300対航空機ミサイル防衛システムの実験に成功しました。それは2016年に彼らがロシアから購入したものです。それに関する交渉には、最長時間を要しましたが、オバマ政権の核協議のおかげで、プーチンはこのようなシステムを自由にイランに販売できるようになりました。基本的には、これによってイランの核プログラムに対するあらゆる軍事行為が阻止されることとなります。繰り返しますが、S-300システムは、現在使用可能です。つまり現時点で、世界中のいかなる空軍も、イランの核プログラムに対する攻撃が成功不可能となったのです。彼らは既に、いくつかのシステムをフォールド原子炉周辺のみならず、他のキーになる場所にも配置しています。理解しなければならないのは、このシステムは物凄い破壊力があるということです。これはロシアが最長の年月をかけて開発したもので、現在、彼らはこれを完成させています。このミサイルシステムは、何百マイルも離れたところから向かってくる超高性能レーダー航空機や巡航ミサイルを探知することが可能で、そして同時に複数のロケットを発射させ、複数の標的を同時に破壊することが出来るのです。一つや二つではありません。複数です。これは言うならば、イランの核開発に対するイスラエル側からのすべての軍事行為を防ぐため、オバマ政権が尽力し、棺桶に打ち込んだ最後の釘ということです。

では、なぜこれほどまでに私が興奮しているのか、また、なぜこれを皆さんにお伝えすることに少々不安を感じているのかということをご説明しましょう。私は長年ずっと、イスラエルはイランの原子炉を破壊することは出来ないと思っていましたが、——彼らはイラクの原子炉とシリアの原子炉の経験から学んだのです。彼らは、非常に多くの核プログラムを、異なる様々な場所に拡散したため、一回の空爆ぐらいでは大したダメージを与えられないのです。一か所を破壊しても、他の場所がまだ作動可能な状態で残りますから。これがまさに物事を非常に複雑にしている理由です。イスラエルは、これまで密かにアメリカに働きかけて、あそこの原子炉や他の施設を攻撃する承認を得ようとしてきましたが、オバマ政権下のアメリカはそれを認めず、信じがたいことですがサウジアラビアが、我々があちらを攻撃する際に、彼らの空軍基地の使用許可を公式に出したのです。サウジには、イスラエル以上にイランの核兵器を恐れる理由があるのです。なぜなら、イスラム界にとって最大の戦争は、スンニ派對シーア派の争いだからです。サウジはスンニ派の長、イランはシーア派の長。だからサウジは非常に恐れているのです。これ自体が、現在のサウジとイスラエルとの関係が良好になりつつある理由を説明していますね。といっても、今日の要点は次のことです。聖書預言を注意深く読むと、破壊されるのはテヘランではなく、ダマスカスです。そしてイランがイスラエルに攻撃を仕掛ける時に、それに参加してくるのは、他でもなくロシ

アとトルコです。つまり要点は、現在我々が目にしているのは、イスラエルがイランを攻撃する可能性の「棺桶」に、最後の釘が打たれたということです。また、エゼキエルの預言をよく注意して読むと、武器の種類や、それを埋めなければならない事、その期間等から中東で核戦争が行われる可能性が非常に高いことも分かります。つまり、二つの事に向かって巨大な一歩を踏み出したこととなります。

① イラン—ロシア同盟はいずれ、イスラエルに向けられる。

ロシアはイスラエルに対して敵対宣言はしていませんが、イランはイスラエル破滅を連日連夜叫んでいます。

② ロシアはミサイルシステムを使用することで、イランを攻撃しないのは明白。

このシステムは彼らが売ったのですから。ロシアはそのシステムをイランに売ることによって、基本的にはイスラエルに向かって次のようなメッセージを発信しているのです。

「もし、イランの核プログラムに触れるなら、災いが下る。」

それから最後に、これまた重要なことですが、ロシアは中東の動きを独裁しているのです。恐らくそのために、ネタニヤフは来週、緊急にロシアのモスクワを訪れ、イラン問題についてプーチンと会談するでしょう。プーチン自身がこれらの武器システムを販売し、イランを武装させているのに、彼がイランについて語る意味が分かりませんが。理解すべきは、イランは目的があって、一時的にロシアと同盟を組みます。ロシアは武器システムを売るためにイランが必要なのです。ロシアは今、深刻な赤字をかかえているからです。原油価格は記録的な安値、ロシアは石油の輸出国でそれに依存しています。ですから、ロシアは現金が必要、イランはこのような武器が必要、互いの利益が一致しているのです。

現在イランとロシアはこれまでにないくらいに接近しています。そして、あのシステムが「使用可能だ」とイランが言うことには、トランプ大統領が今、イスラエルにイラン攻撃を許可したとしても、イランは現在核プログラムを所有していることを、全ての人に公に告げているのです。言っておきますが、今はイスラエル自身もその許可を求めたりはしません。そんな自殺行為には踏み出しません。彼らがなぜこれほどまでに急いで、このシステムを推し進めたかという、それはアメリカの大統領選です。ヒラリー・クリントンがアメリカ大統領に選ばれていたら、アメリカ政権がイスラエルのイラン核プログラムへの攻撃を阻止することも分かっていたので、イランはもっと余裕で構えていたことでしょう。聖徒の皆さん、トランプはオバマとは全く違ったメロディーを奏でています。そして、イランの核協議違反に対して、強硬な姿勢で新しい制裁を加えています。そしてイランは今こそ、——神はそれを許しませんが、もしサウジとアメリカ、イスラエルが手を組んで核プログラムを攻撃してきたときに備えて、このシステムを使用可能な状態にして、前進する時だと決意したのです。

皆さん、イランがいずれ核兵器を持つというのは、すでに現実のものとなり、動かすことのできない事実となりました。イスラエルがもはや、軍事的にそれを阻止する手立てがなくなったからです。これによって、中東は完全に次の段階へと移行しました。イスラエルはある種の攻撃に直面し、明らかにアメリカの援護も大して役に立ちません。なぜなら、ロシアが中東に入っているからです。実際に中東にいるのは、アメリカではなく、ロシアです。そして、ロシアがイランにやりたい放題をさせるのなら、イスラエルは完全に危険に晒され、弱くなります。覚えていますか？エゼキエル 38 章には、アメリカはイスラエルを援護するとは書かれていません。サウジがイスラエルを助けるとも書いていません。ヨーロッパが

イスラエルを助けるとも書かれていないのです。エゼキエルが、サウジやアメリカ、ヨーロッパについて書いているとすれば、それは彼らは攻撃に対して非難をするのだらうということであり、それ以上はしません。

ということで、事態はどんどん進んでいきます。中東では物事がエスカレートしています。私の友人である Pastor JD が言っていました「ドナルド・トランプが大統領になったことで、預言的出来事がエスカレートし、スピードアップした。」——まさに、その通りです。ご覧の通り、トランプが大統領になったことで、イランは今、急いでこのミサイルシステムの実験を行っています。万が一、トランプがイスラエルに何か行動を起こすことを許可した場合に備えて、です。非常に興味深いですね。これはお伝えする価値があると思いました。これは緊急速報、重要ニュースであり、聖書預言エゼキエル 38 章の成就で見ると、これは巨大な一歩です。

ということで、これら全ての事を念頭に置きつつも、イエス・キリストが王座についておられることをお忘れなく。私たち神の子ども達はただ、私たちの贖いが近づいたことを知り、頭を上げるのです。いずれ、反キリストの登場に繋がる戦争の時、私たちはここにいないと、私は信じています。反キリストは中東において、イスラエルに平和をもたらします。

ということで、物事は確実にエスカレートしています。物事は間違いなく前進しています。それも猛スピードで。私は超ワクワクしていて、次に何が起こるのかとても楽しみです。しっかりと目を見開いておいてください。現在ネタニヤフは、サウジや湾岸諸国、カタールといった穏健派スンニ派諸国と新しく同盟関係を構築することに勤しんでいます。なぜなら、彼らにはイスラエル以上にイランを恐れる理由があって、今では彼らはイスラエルを敵というよりもパートナーとして見えています。「敵の敵は味方だ」ということを彼らは理解しているのです。これは二週間前、ワシントンでトランプとネタニヤフが地域の平和について語ったことから始まりました。パレスチナ—イスラエル問題に囚われるのではなく、です。はっきり言うと、パレスチナ問題については誰も関心を持っていないのです。中東の問題は、もっともっと広範囲に及んでいて、二国解決案などというものは完全に実行不可能だけでなく、相手側が、イスラエルが国であることを事実として受け入れていないのですから。しかし、みなさんにご理解いただきたいのは、聖書には二国解決策については書かれていませんし、パレスチナについても、聖書には書かれていません。聖書には、イランがイスラエルを攻撃すると書かれており、ある種の核戦争が起こると書かれており、ロシアが中東に関与すると書かれています。イスラエル—パレスチナ問題にばかり集中せずに、一歩下がって全体像をみなければなりません。全体像は、ずっと大きく、ずっと輝かしくて、そして何よりもずっと興味深いのですから。

今は物凄い時代です。皆さんが主に従って歩んでおられることを願います。皆さんが主の前に正しくおられることを願います。この時期、この季節、この時代において、優先順位を変えるべきであると、皆さんが理解しておられることを願います。家族や友達と、つまらない争いをしている時間はないのです。今こそ真剣に主とともに歩む時です。今こそ前進する時、御父の業に励む時です。今こそ福音を宣べ伝える時、今こそ私たちの持っている希望、祝福された希望を伝える時です。

「教会の携挙がまもなく起こる」

信じられない事ですが、本当に多くの方が私に連絡してきて、「携挙は、聖書に書かれていない！」と言うのです。ですから、私はいつも聖書の箇所を添えて返信するのですが、——それも第一コリント 15 章だけではなく、第一テサロニケ 4 章も書いておきます。携挙は、聖書にかなっているだけでなく、この悪の墮落した不幸な世界において、携挙は唯一の希望です。私たちはこの世のものではなく、私たちはこの世に残されるものでもありません。私たちは連れて行かれるのです。主が間もなく、私たちを主の御元に迎えに来られます。そして、主のおられる所に私たちもいるのです。そして、患難の後、主が戻って来られる時には、「見よ！主が戻って来られ、主の足がオリーブ山に立ち、その時、聖徒も主とともに戻って来る。」のです。私はそれを本当に楽しみにしています。

しかしその前に、私たちは今の時代を理解し、今の季節を理解して、現在起こっていることを見なければなりません。イランが S-300 システム使用可能だと発表したこのニュースの一片はまさに、核施設に対する全ての軍事行為を阻止することが出来るということです。この大ニュースは、地域だけでなく世界中に影響を及ぼします。そして、理解しておくべきは、彼らは今後さらに堂々と、明確に、またなんといかますます増長して、「俺たちはどんなことでもしたいように出来るんだ！」と明言するようになるでしょう。なぜなら、我々が彼らの喉元に突き付けていた剣、核システムに関してのそれは、もはやなくなったのですから。もちろんイスラエルは長年、別のやり方でイランの核プログラムを痛めつけ、延期させ、妨害することも可能でした。F-16 や F-15 を送り込む代わりに、彼らのシステムを完全に破壊するファイルを送付した Email を送る事も、私は個人的に知っています。また、我々は今後も続けてサイバー界で動いていきます。それでも繰り返しますが、軍事的な選択肢はほぼなくなりました。これは大ニュースです。だから、ペルシャが破滅することは、聞きません。しかし、ダマスカスが破滅することは、聞いています。それから、ペルシャがロシュとトルコ、ゴメル、トガルマと手を組んで、実際にイスラエルに攻め込むことも聞いています。(←聖書に書かれているから。) なんと時代でしょうか！

これは皆さんにお伝えするべきだと思いました。皆さん、素敵な日曜日をお過ごしください。実に多くの方が、Behold Israel のニュースを広めてくださっているのを見て、本当に励まされています。Behold Israel でニュースレターをご登録ください。また、You Tube もチャンネル登録してください。Instagram もフォローしてください。それからツイッター、Facebook も同様をお願いします。

ガリラヤより、I love you!!

素晴らしい日曜日をお過ごしください。アジアではもう既に月曜日ですね。素敵な日曜日を！皆さんにとって素晴らしい一週間となりますように！また何か起これば、Facebook Live でお知らせします。もちろん、後程 You Tube にもアップします。ありがとうございます！God bless you! アプリも入手してくださいね。Behold Israel より、無料アプリをダウンロードしてください。毎日イスラエルからニュースが届きます。どれもがクリスチャンとして知るべきニュースで、皆さんの国のメディアでは恐らく報道しないでしょうから。Thank you!

God bless you!

Shalom from Galilee!

Bye-bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジューAmir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO